

重点課題

【課題1】 相手や場面に応じて適切に敬語を使うことができる。
 (国語 A 設問7) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 (平均正答率 50%) 謙譲語を尊敬語と誤って解答している児童が50%

【課題2】 推薦するためには、他のものと比較して書くことで、よさが伝わる。
 (国語 B 設問2三) 書くこと
 (平均正答率 50%) 推薦文の表現の工夫として「比較して書く」を
 「経験を思い起こして書く」と誤って解答している児童が50%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 全学年で、「話す・聞く」や「書く」単元で、相手を意識した正しい言葉の使い方を丁寧に指導する。総合的な学習の時間や他教科で、ゲストティーチャーや地域の方に電話や手紙で関わる場を設定し、児童が相手や場面にふさわしい言葉を使えるよう指導する。

【課題2】 グッドリーディング週間を全校で取り組み、すらすら読める力を身に付けさせる。読解問題に取り組み、初めて読む読み物でも何が書かれているか考えながら読む習慣を付けさせる。

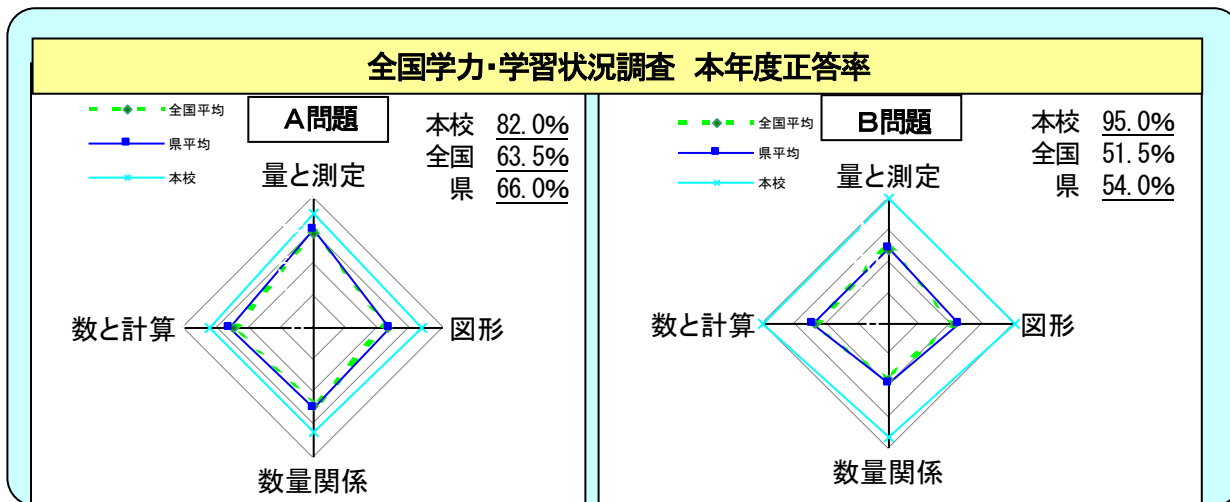
※目的や意図に応じて本や文章を読み、文章構成や書き手の意図を理解して自分の考えをまとめたり、深めたりする活動を授業に取り入れる。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4～6年生 小テスト (自校作)		4～6年生 小テスト (自校作)		4～6年生 小テスト (自校作)	5～6年生 H30 全国学力
目標値		4～5年生 60% 6年生 80%		4～5年生 70% 6年生 90%		4～5年生 80% 6年生 100%	5年生 80% 6年生 100%
実施後数値		4～5年生 100% 6年生 100%		4～5年生 100% 6年生 100%		4～5年生 100% 6年生 66%	5年生 100% 6年生 100%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		4～6年生 小テスト (自校作)		4～6年生 小テスト (自校作)		4～6年生 小テスト (自校作)	5～6年生 H30 全国学力
目標値		4～5年生 60% 6年生 80%		4～5年生 70% 6年生 90%		4～5年生 80% 6年生 100%	5年生 80% 6年生 100%
実施後数値		4～5年生 100% 6年生 100%		4～5年生 100% 6年生 100%		4～5年生 100% 6年生 100%	5年生 100% 6年生 100%

来年度に向けて

目的や意図をはっきりさせて、本や文章を読んだり、聞き取ったりしたことごとをもとに、文章に表す活動に取り組み、読む力や書く力の向上を目指す。



重点課題

【課題1】 小数の除法，単位量当たりの大きさを求める式，円周率を求める式，百分率の意味について理解することができる。
(算数A 設問2 4(2) 7(1) 8)
(平均正答率50%) 式の意味を誤って解答している児童が50%

【課題2】 メモの情報とグラフを関連づけ，総数や変化に着目していることを解釈し，それを記述できる。(算数B 設問3 (1))
(平均正答率50%) グラフに表されている人数の差に着目して記述できていない児童が50%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 予習や集団解決など，なぜそうなるのか根拠をもとに式の意味について説明する場を設ける。どのようにしたら解決できたのかの視点で振り返りを書かせ，交流することを継続する。

【課題2】 グラフを読み取る学習では，「多い」「少ない」「差」「変化」等の視点を与えて，グラフからいろいろな読み取り方ができるようにする。
総合的な学習の時間や他教科で，課題を解決するために調べたことをグラフに表して活用する場を設定する。

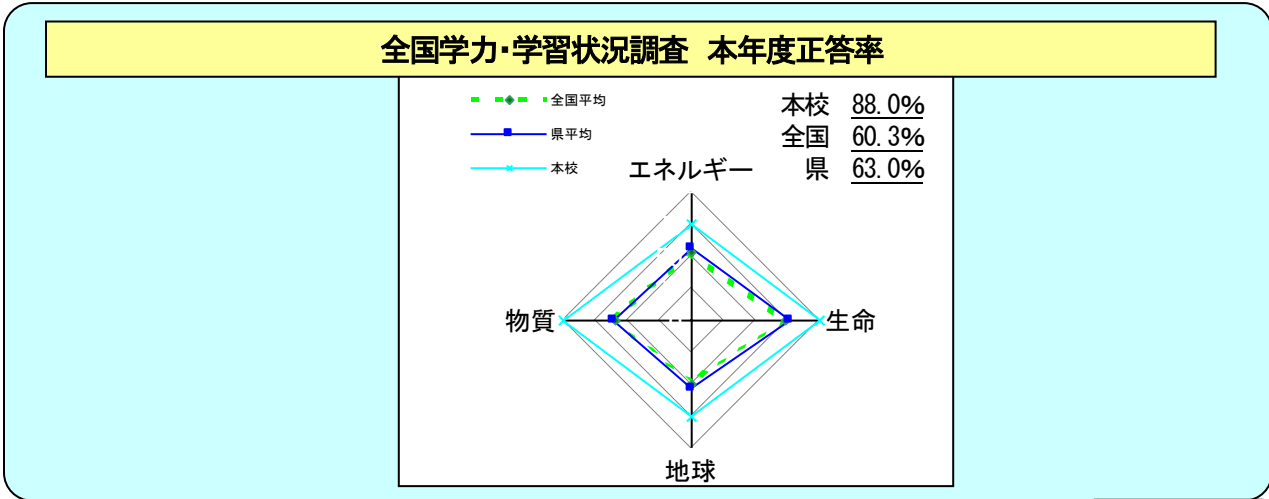
※数学的表現を用いながら筋道を立てて説明すること，根拠を示して説明することを小中一貫して指導する。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4～6年生 小テスト(自校作)		4～6年生 小テスト(自校作)		4～6年生 小テスト(自校作)		5～6年生 H30全国学力
目標値	4～5年生 60% 6年生 80%		4～5年生 70% 6年生 90%		4～5年生 80% 6年生 100%		5年生 80% 6年生 100%
実施後数値	4～5年生 80% 6年生 83%		4～5年生 100% 6年生 73%		4～5年生 55% 6年生 93%		5年生 50% 6年生 60%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4～6年生 小テスト(自校作)		4～6年生 小テスト(自校作)		4～6年生 小テスト(自校作)		5～6年生 H30全国学力
目標値	4～5年生 60% 6年生 80%		4～5年生 70% 6年生 90%		4～5年生 80% 6年生 100%		5年生 80% 6年生 100%
実施後数値	4～5年生 40% 6年生 66%		4～5年生 40% 6年生 100%		4～5年生 50% 6年生 100%		5年生 100% 6年生 100%

来年度に向けて

単位量あたりの大きさを求める問題に課題が残った。引き続き予習と振り返りを生かした授業づくりをすすめ，根拠を示し，筋道を立てて説明活動に積極的に取り組む。



重点課題

【課題1】 より妥当な考えを作り出すために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる。(設問2 (3)) 地球
 (平均正答率50%) 2つの条件(水の量, 棒のようす)のうち、一つの条件(水の量)についてのみ記述している児童が50%

【課題2】 太陽の一日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適用できる。(設問3 (4))
 (平均正答率50%) 午後1時から3時までの間にある太陽の位置を誤って捉え、解答している児童が50%

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】 実験を丁寧にを行い、実験結果から分かったことを自分の言葉で書いてまとめる活動を積み重ねる。

【課題2】 予習・観察実験・考察・まとめ・振り返りの流れを大切に授業を行う。
 予想や振り返りなど、既習事項を使って考える場を設ける。

※実験観察を丁寧にを行い、実体験を積ませる。既習事項を使って予想(仮説)を立て、説明する活動を大切にす
 る。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4～6年生 小テスト(自校作)		4～6年生 小テスト(自校作)		4～6年生 小テスト(自校作)		5～6年生 H30全国学力
目標値	4～5年生 60% 6年生 80%		4～5年生 70% 6年生 90%		4～5年生 80% 6年生 100%		5年生 80% 6年生 100%
実施後数値	4～5年生 25% 6年生 33%		4～5年生 30% 6年生 33%		4～5年生 40% 6年生 100%		5年生 75% 6年生 66%

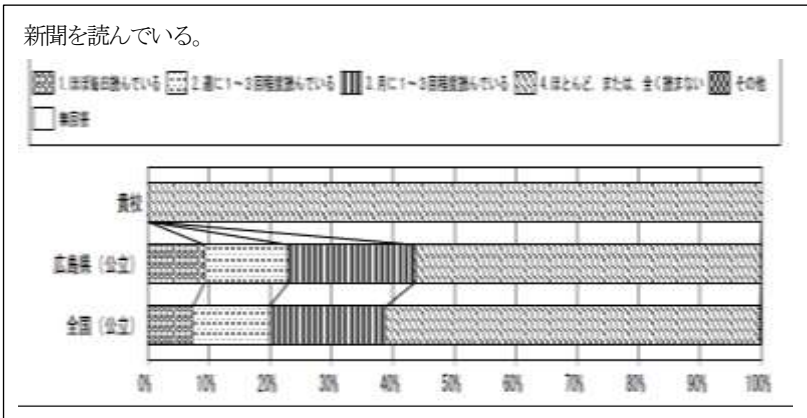
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	4～6年生 小テスト(自校作)		4～6年生 小テスト(自校作)		4～6年生 小テスト(自校作)		5～6年生 H30全国学力
目標値	4～5年生 60% 6年生 80%		4～5年生 70% 6年生 90%		4～5年生 80% 6年生 100%		5年生 80% 6年生 100%
実施後数値	4～5年生 0% 6年生 100%		4～5年生 80% 6年生 66%		4～5年生 80% 6年生 66%		5年生 75% 6年生 100%

来年度に向けて

観察や実験をする際には、予想(仮説)を立てること、実験後にはそれを検証する活動を大切にす。身近な事象と関連付けて考えさせる。

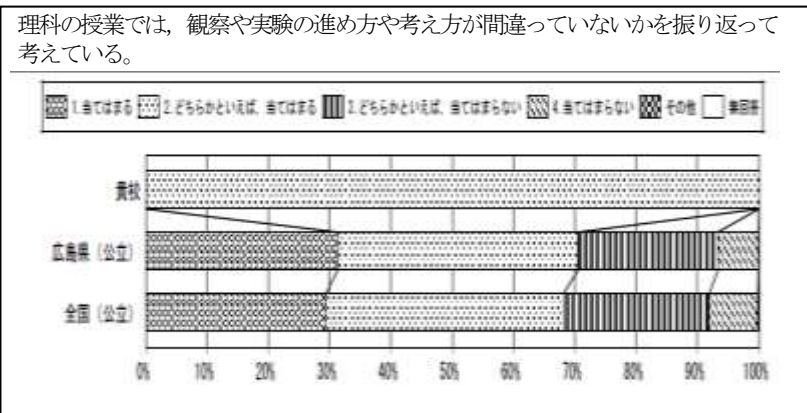
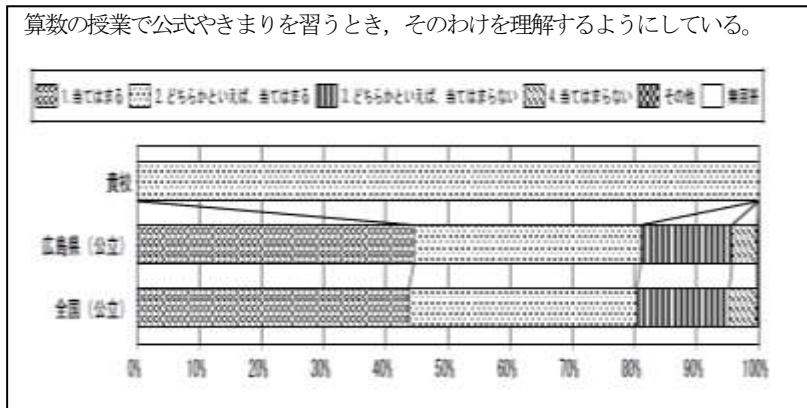
2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習



	児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
基礎・基本	「読んだ本の内容について、友達や家族と話をしている」と回答した児童が60%である。	定期的に家庭学習で読書をする日を設け、家庭で感想を交流する場を仕組む。	5	100%	アンケート	2月	75%	+15%
全国	新聞をほとんど、または、全く読まない児童が多い。(通過率0%)	教室に新聞を掲示し、新聞を活用した授業を行い、興味付けを行う。	6	100%	アンケート	2月	66%	+66%

(2) 教科



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	基礎・基本 「伝えたいことの内容をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いている」と回答した児童の「よくあてはまる」が60%である。	国語科では、付箋を使った組み立てメモを活用して文章構成を考える活動を大切に。総合的な学習の時間や他教科においても、相手意識をもって文を書く活動を設定する。	5	100%	アンケート	2月	75%	+15%
算数	基礎・基本 「算数の授業はよく分かる」と回答した児童が60%である。	課題意識をもって授業に臨めるように、予習について個に応じた指導を行う。学習リーダーを中心とした自主的な学びになるように、進め方を周知させる。	5	100%	アンケート	2月	100%	+40%
	全国 「公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」と回答している児童の「よくあてはまる」が0%である。	文章題を中心に、図などをつかって式の意味について説明させる活動を学習の中に取り入れる。	6	100%	アンケート	2月	100%	+100%
理科	基礎・基本 「学んだことを、ふだんの生活の中で使ったり、学んだことがどのような場面で使えるのか考えている」と回答した児童は80%である。	単元の終わりに、学習したことが日常生活とどのように結びついているかを教師が示したり、児童に考えさせたりする場を設ける。生活の中でも、場を捉えて理科の学習とのつながりを意識させる。	5	100%	アンケート	2月	100%	+20%
	全国 「観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている」と回答している児童の「よくあてはまる」が0%である。	自分の予想と実験結果を比べ、何をどのようにすればできたのかという視点で振り返る時間を継続する。	6	100%	アンケート	2月	33%	+33%